

あすりーと高岡

第28号



第1回市民体育大会開会式

県民体育大会



新高岡市のスポーツ振興に期待すること

新高岡市体育協会 副会長 湯谷 信竹



平成十七年十一月一日、新高岡市が誕生しました。旧福岡町は昭和二十年代より続いた西砺波郡体育大会、昭和四十七年からは東西砺波郡体育大会となり、三十三回の歴史を数え、終了しました。大会は六地区（①城端・平・上平②福野③井波④庄川⑤福光⑥福岡）対抗で行われており、同じような大きさでの対抗戦であったので意識は高まり、いやがうえにも盛り上がり、活発な大会を繰り広げてきました。平成十二年の国民体育大会では卓球競技がUホールで開催されました。また、施設の設備も徐々に充実され、Uホール、B&G海洋センター、四ヶ所（大滝・山王・赤丸・西五位）のトレーニングセンター、長水路を持つ福岡プール等、福岡町のスポーツ振興に多大な貢献を残してきたと感じます。今後は総合グラウンドの計画等も話に聞いていますが現在の施設をさらに効率的に使用すればスポーツ振興は発展すると感じます。

合併により、新しい体制となった機会に今一度、体育協会の目的を考えたと「市民の心身の健全な発達に寄与すること」の一言に尽きると感じます。昨今、マスコミ等で毎日のように報じられている親子虐待や青少年犯罪には心を痛めます。日本人本来の姿である親を慕い、先生や先輩を敬い尊敬する姿はどこへいったのかと感じます。このような事態のときこそスポーツを通じて青少年の育成に努めることが体育協会の仕事ではないでしょうか。その一つの取り組みとして指導者の発掘・育成が上げられます。では、どのようにして指導者を育成するのでしょうか。

- ①各競技団体の研修会を開催し、ルールや指導法を学ぶ。
- ②スポーツ科学、医学を理解する。
- ③トレーニングをマニュアル化する。

自分の経験だけではなく、このような研修会を繰り返すことが、指導者の育成となり、専門的な知識を得て、適切な指導を行うことが、選手活躍につながり、元気な活力ある市になると確信しています。また、人生経験が豊富でスポーツを通じて人生を語る指導者の下には必ず立派な人間が生まれてくることを信じています。

さらに、指導者の責任は青少年の進路・育成にとっても大きな影響を持ち、その指導者で子供の人生が変わるといっても過言ではありません。しかし、熱心に指導しているにも関わらず世間的に指導者は物好きとの印象もあり「何の得にもならないのによくやるわ」その陰口のあるのは承知していますが是非、指導者の皆さん頑張ってください！私たちが次の世代の人を作るんだと思います。



トピックス

高岡向陵高等学校 女子ハンドボール部

「人」のすること

監督 大森 聡

幸運にも平成18年3月に開催された第29回全国高等学校ハンドボール選抜大会で優勝することができました。これも高岡市や高岡市体育協会、高岡市ハンドボール協会をはじめとするさまざまなバックアップがあったからに他なりません。

ご承知の方も多いかと思いますが、富山県はハンドボールが大変盛んなところでもあります。中でも氷見市は春の全国中学校大会を今年から10年間開催していくことになっており、地域をあげての取り組みと育成をおこなってきています。小学校・中学校・高校とそれぞれの年代で何度も全国優勝していることからその取り組みの成果が伺えます。その氷見市に追いつけ、追い越せと他の地域でもかなり力が入ってきています。

まず、このような富山県の高校のひとつでハンドボールのチームに携われることに深く感謝しています。現在在籍している生徒の殆どは中学校からのハンドボール経験者であり、その半数は小学校からハンドボールに取り組んできている生徒たちです。今回の優勝も小学校、中学校から指導していただいた皆様の基礎づくりがあったからこ

totoの収益は、身近に親しめるスポーツ環境の整備や競技力向上の事業に活かされます。

伏木海陸運送野球部

第77回都市対抗野球大会

4年ぶり出場



伏木海陸運送株
野球部は、7月9日富山市民球場で開催された北信越地区、第2次予選の決勝戦で延長10回の激戦の末見事バイタルネット（新設市）チームを下し4年ぶり2度目の優勝を飾り都市対抗野球本大会の出場を決めた。林社長のお話では「野球部の練習環境は全国的にみてもけっして恵まれているわけ

福岡高校野球部 甲子園初出場

生徒達と共に

監督 水野 行俊

野球と勉強を両立させなければならぬ生徒達が、放課後の貴重な時間グラウンドにたつて練習するということは、時間を大切にするという最高の実践の場である。また同時に、集中力を養うための最高の時でもある。

本校の監督になってからの四年半、大切にしてきたことは、

- ①明確なテーマを持たせること。
- ②常に試合の1球になるように、集中力を高めさせること。
- ③選手の良い所が試合で発揮されるように指導に工夫を重ねること。

以上の三点である。私自身、自分の指導を問われているような日々であった。練習

ではなく他の従業員と同じように仕事をこなし、練習グラウンドも外野は雑草が生えている状態の中で栄冠を勝ち取った」ものである。また野村監督は、「4年前の1回戦は0

戦突破できなかった。この悔しさをばねにチーム一丸となり雪辱を果たしたい」と語り、岩原主将は「体調を整え、持っている力を出し切つて勝利をつかみ取りたい」と意欲的であった。なお試合は8月26日土午後2時から東京ドームで、出場33回を誇る強豪NTT東日本チームと対戦する。熱戦を期待するものである。



写真提供 毎日新聞社

試合で大敗した時などは、辛い思いの連続で苦悩する日々が続いた。勝てないかもしれない。何度もあきらめそうになったが、生徒たちのひたむきな姿勢に励まされまたグラウンドに向つた。強くなりた

い 甲子園という夢を現実にした。という信念が互いを刺激しあい、チームがまとまってい

た。この夏の大会は、日々の取り組みの集大成となるよう①その試合にテーマを持ち②集中し③力を発揮させることを柱として助言した。予選6試合、それがすべてうまくいった。生徒達は本当に良くやっ

平成十八年度

(財)高岡市体育協会
体育功労者

表彰状(個人の部)

〈バドミントン協会〉

酒井 将之・木下 政彦
舩田 圭太・大東 忠志

大東 真也

〈パワーリフティング協会〉

岩黒 朋美・増山 朱美

二口 裕美

〈ボウリング協会〉

大角 広司

〈陸上競技協会〉

米島 健太・米田 洸一

〈空手道連盟〉

古市 結

感謝状(個人の部)

〈ゲートボール協会〉

島井 典男

〈剣道連盟〉

荒木 弘之

〈クレール射撃協会〉

中嶋 純悦

〈スキー連盟〉

横堀 昭一

〈テニス協会〉

速水 睦子

〈中学校体育連盟〉

芳田三輪子

〈柔道連盟〉

仙納 利信

〈バレーボール協会〉

朴木 和弘

〈野球協会〉

紺谷 文夫

〈高岡市体育協会〉

竹田 雅子

全国大会等で入賞した
団体・個人

■全国高校総体

優勝 女子団体

小杉高校柔道部

優勝 女子個人 78 kg級

田知本 愛 小杉高

準優勝 男子団体

小杉高校柔道部

準優勝 女子個人 70 kg級

田知本 遥 小杉高

準優勝 高岡向陵高校

ハンドボール部

三位 女子個人 沼口・穂積組

高岡商業高校ソフトテニス部

■全国中学校体育大会

三位 中山 昌

芳野中学校相撲部

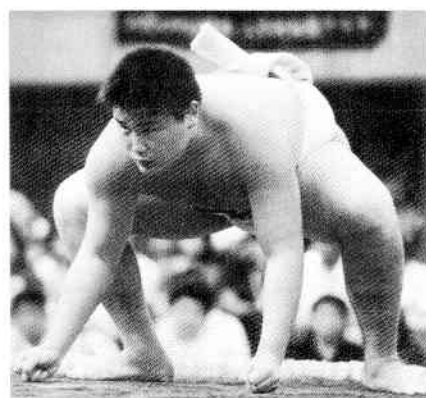
三位 佐野賀世子 57 kg級

芳野中学校柔道部

三位 登坂 絵莉

レスリング 37 kg級

南星中学校



■第32回全国少年少女
レスリング選手権大会

優勝 越田 強太 33 kg級

戸出西部小学校 4年

準優勝 紺野 孝太 39 kg級

横田小学校 6年

三位 宮原 将 28 kg級

定塚小学校 4年

三年 宮原 優 33 kg級

定塚小学校 6年

三位 加藤 優弥 33 kg級

戸出西部小学校 3年

三位 大巻 湧 19 kg級

ひなどり幼稚園

■全国小学生学年別柔道大会

優勝 長内 香月 45 kg超級

下関小学校 6年

第1回高岡市民体育大会

59回を数える、この大会は昨年の11月に福岡町との合併に伴い第1回大会として名称を改め、福岡町からも各競技にわたり多数の選手が参加しました。6月24日(土)高岡市民体育館において、各競技団体の役員選手一同が参集し、大会長橋慶一郎高岡市長、高岡市議会議長向栄一朗氏をはじめ多くの来賓の出席のもと華々しく開会式が挙行され、7月1日・2日の両日を中心に高岡市内一円34競技にわたり約1万人の選手により熱戦が展開されました。

第59回富山県民体育大会

去る7月29日(土)・30日(日)の両日、砺波市を中心に県下各会場40競技にわたり行われ高岡から24競技に1000名余りに出場し、スポーツの栄光と郷土の名譽をかけて健闘しました。

戦績は二部、郡市対抗一般の部では男子のテニス、卓球、柔道、剣道、クレール射撃、弓道、女子のハンドボール、ソフトテニス、バドミントン、中学の部男子では水泳、卓球 女子は水泳、バスケットボールが優勝の栄冠にががやきました。中でも柔道競技一般男子については13年連続優勝が特筆される。

しかし総合成績では一般の部・中学生の部、共に三位でやや物足りない結果に終わりました。来年に向けての飛躍を期待するものであります。

全国高校総体出場者・全国中学校体育大会出場者

中学校		高校	
陸上	志貴野 小坪 彩花	陸上	新湊 大井 崇史
柔道	芳野 上田 莉那	新湊 塚原 崇元	高岡西 松井 優哉
	佐野 賀世子	高岡工芸 宇波 栄樹	二上工業 岩木 陵
	稲村 春香	高岡向陵 横山 拓也	高岡龍谷 坂下 大悟
	川 咲子	高岡 大坂 理美	高岡工芸 永田 晴香
	小林 立幸	伏木 関 亜喜奈	伏木 畠山 直聴
	竹内 優香	水泳	沖崎 悟子
相撲	中田 芳野	水泳	
	伊藤 寛史	伏木 関 亜喜奈	
	大西 慎之介		
	中村 昌寛		
バスケット	高岡工芸 白岩 玲祐		
	森 充		
	吉澤 卓也		
	中川 泰雅		
	常川 駿		
	金山 隼平		
	藤岡 俊太		
	三箇 直人		
	林 直樹		
	高島 慶行		
	堀井 雄貴		
	中川 了輔		
	野尻 樹		
卓球	高岡西 得能 将平		
	大川 昌央		
	岡田 菜々恵		
	高橋 舞		
	上森 美沙		
	宇野 竜平		
	今井 佑記		
	武居 恭二		
	南部 正道		
新体操	新湊 石黒 敬士		
	中島 由梨		
	手繰 優衣		
	沖村 しほ乃		
	川添 由衣子		
	金子 仁美		
	赤井 仁美		
	城石 舞		
	宮崎 玲緒奈		
ソフトテニス	高岡商業 長谷川 慶		
	寺生 龍之介		
	種田 龍介		
	中川 祐貴		
	呉松 麻里奈		
	山本 容子		
	堀井 瞳		
	谷 伊規子		
	前田 優		
	源明 麻里那		
	長崎 未沙		
	坪内 里佳		
	稲積 佳林		
	平田 晶絵		
	信高 美穂		
	沼口 菜生		
	長谷 日香里		
	松本 美葉		
	植野 恵		
	城宝 ざおり		
ハンドボール	高岡向陵 石田 光		
	中井 美希		
	横嶋 未来		
	飯山 静理		
	横嶋 彩		
	東海 窓花		
	竹内 美沙紀		
	森田 早矢香		
	松本 淑佳		
サッカー	富山第一 高藤 隆治		
	堀 俊介		
バドミントン	高岡第一 高嶋 淳平		
	竹内 慶太郎		
	山村 駿介		
	瀬川 昂平		
	大江 正人		
	太田 誠		
	谷村 龍信		
	十田 彩		
	奥井 智菜美		
	二ツ柳 紗耶		
	幡谷 若奈		
	福田 知紗		
	片山 佳菜		
	市山 瑠子		
ソフトボール	浦田 統子		
滑川	山手 昭人		
	高松 達史		
	澤田 尚也		
	海老 泰博		
	米丘 圭佑		
	西浦 太朗		
	河村 道生		
	道古 俊弘		
レスリング	高岡商業 加藤 和弥		
	武田 州平		
	立浪 聡		
	北宮 光洋		
	杉守 剛		
	荒谷 弘一		
	藤川 裕貴		
	田邊 学		
	沖 洋平		
剣道	高岡工芸 松澤 一平		
	加賀 谷竜也		
	大島 崇大		
	若松 雅輝		
	杉林 成博		
	辻村 成之		
	小本 輔		
	滝下 彩乃		
	宮前 美穂		
	齊藤 美咲		
	藤井 はるか		
	堀 理絵		
	山崎 悠理		
	西野 文緒		
弓道	又場 義明		
	田知本 愛		
	長谷川 奈緒		
	牧村 操		
	橋 沙織		
	森井 仁美		
	田知本 遥		
	佐伯 豊		
	二谷 修平		
テニス	高岡 水間 晴子		
	中村 恭子		
	笹村 若菜		
ヨット	国際大学 笹村 若菜		
	長久 諒輔		
	水門 貴重		
	奥田 太一		
	辻 涼介		
アーチェリー	高岡龍谷 萩原 崇史		
	高岡 奈美		
	吉田 智美		
	吉田 綾香		
	長田 春風		
	中野 達也		
	江尻 賢人		
	柴田 大毅		
	矢野 史弥		
	黒柳 哲朗		
	川西 彩也香		
	川西 英里香		
	橋田 祐里		
	西川 克哉		
水泳	高岡商業 中野 達也		
	江尻 賢人		
	柴田 大毅		
	矢野 史弥		
	黒柳 哲朗		
	川西 彩也香		
	川西 英里香		
	橋田 祐里		
	西川 克哉		
空手	高岡 吉田 峻康		
	芝木 智美		
	吉田 奈央		
	中村 綾香		
	長田 春風		
	中野 達也		
	江尻 賢人		
	柴田 大毅		
	矢野 史弥		
	黒柳 哲朗		
	川西 彩也香		
	川西 英里香		
	橋田 祐里		
	西川 克哉		

スポーツ・アドバイス

スポーツ医科学委員

清水 芳 隆

チームづくりのヒント (その4)

最終回は、チームづくりについて述べます。チームを分析する基本的な思考は以下の段階を繰り返します。(1) 選手の身体的条件のチェックと体力診断をする。(2) チームの目標を設定する。(3) トレーニング内容と方法を決定する。(4) トレーニング効果の評価と再検討をする。(5) ステップアップしたイメージを設定する。

(1) 選手の身体的条件のチェックと体力診断については、選手個々のデータ分析とチーム力としてのデータ分析を客観的に実施することが大切です。過去の積み重ねと他チームあるいは他種目の選手との比較検討が将来の成長予測をより正確なものにすると思います。そのためには、指導者は選手に対する観察眼を磨き、選手の潜在能力と成長の可能性を洞察する力を養うことが大切だと思います。

(2) チームの目標を設定するには(1)の分析に狂いがないことが必要です。選手・チームが到達目標を設定する際は、選手や周囲が納得し、いかに「その気にさせるか」が指導者の腕の見せ所です。それ故、指導者が備えるべき大切な要因は「説得力」だと思います。目標達成の意欲の強さが、選手・チームの忍耐度や苦境を乗り越える工夫力を高めるのは、各選手が「自己の差別化」というプライドを持つ以外にないと思います。

(3) 目標が達成できるトレーニング内容と方法を決定し、忠実に実践することです。トレーニングメニューがどんなに適切でも、

実際に取り組む選手の姿勢が実現の可能性を左右します。

セブン・イレブン会長の鈴木敏文氏は、著書『商売の原点』の中で、「①品揃え②鮮度管理③クリンリネス(清潔)④フレンドリーサービスの4つの基本原則を徹底することだ。基本の徹底以外に、仕事を成功させる方法はありません。会社が大きくなればなるほど、経験を積み重ねれば、仕事に慣れれば慣れるほど基本がおろそかになりがちです。」と述べられています。

(4) トレーニング効果の評価と再検討をする。これだけ情報化された今日では、トレーニングに関して秘密の特効薬的なものはなく、こつこつ積み上げていくだけです。期間を区切ってトレーニング効果を評価し、選手の変容を観察し、ステップアップを繰り返すことが大切です。私は、年間を通して同じトレーニングを実施しているチームを見たことがあります。入学した1年生の期間が一番つらく、上級生になるほど楽になるということではおかしいと思います。

トレーニングは単調になりがちですから、種目を変えたり雰囲気を変えたりして、いかに新鮮な気持ちで取り組むかが大切です。私は、選手にトレーニング内容が「今日もこれか」と先読みされないように努めました。バドミントンの種目の特性から、トレーニング種目の内容には、動きの方向・重心の上下動・ステップの幅・身体の回転等にてきるだけ変化をもたせるように工夫してきました。

(5) ステップアップしたイメージを設定する。指導者として、最も大切なことは、日々の練習・トレーニングの積み重ねによって選手は刻々と変わっていきます。その効果を最大限に生かし、ステップアップしたプレーのイメージを選手に伝えることです。指導者は、ステップアップした選手のプレーの質的变化、それに見合った戦術的イメージの変容や目標値の向上に対する感性を磨くことがなかったら、選手の毎日の苦勞が大きく報われることはないと思います。

ミシガン大学教授のジェフリー・K・ライカー氏は、その著書『ザ・トヨタウェイ』で、「トヨタシステムの原則を①Philosophy(長期的思考)②Process(ムダ取り)③People and Partners(尊重・チャレンジ・チーム育成)④Problem Solving(継続的改善と学習)の4Pで表現しています。」「他者がトヨタウェイをシステムとして導入しても、内容が浸透しないのは、(3)のリーダーの人材育成(4)のあくなき向上・改善への取り組みの姿勢の徹底である」と述べています。

指導者は過去の名選手や広くは世界の素晴らしい選手をできる限り多く知ることによって視野が広がると思います。

前述の鈴木敏文氏は、その著書『商売の原点』の中で、「人を説得するには、自分が勉強して、相手より深さを持つことが肝心です。」と述べられています。「指導者にゴールはない」と考えています。

加盟団体紹介(39)

高岡地区高等学校体育連盟

高岡地区高等学校体育連盟は、県高等学校体育連盟の指導の下、高岡地区高等学校における体育・スポーツの普及・発展と健全な心身の発達を図ることを目的としています。

今年度、福岡高校が加わり20校となり、各校体育科教員（講師含む）110名の会員と27種目の専門部で構成されています。

1 主な事業

①各種競技大会の実施

②全国大会（全国高校総体、国民体育大会）の視察派遣

③夏季実技研修会

平成16・17年度はトレーニングの理論と実際を実施し、今年度はマリンスポーツ（ヨット、ローボート、カヌー）の予定

④創作ダンス発表会

毎年1月末に実施しており、15校150名程度の参加があります。平成16年度よりウイングウイング高岡で実施しています。

⑤年1回の総会、3回の理事会の開催

2 成果と今後の課題

毎年、多くの種目が高校総体や全国選抜大会・国民体育大会に出場しています。今年度の高校総体（団体のみ）では、新体操（新湊）、バスケットボール男子（高岡工芸）、卓球男子（高



岡龍谷）、ソフトテニス女子（高岡西）、ハンドボール男女（氷見、高岡向陵）、バドミントン男女（高岡第一、高岡西）、剣道男女（高岡工芸）、レスリング（高岡商業）、ヨット女子（新湊）、自転車（氷見）の11種目が出場し、柔道女子（小杉）が優勝、柔道男子（小杉）とハンドボール女子（高岡向陵）が準優勝するなど好成績を残しました。

全国の上位で活躍するチームは、概ね地域の小・中・高校生が密接な連携を図り、一貫指導システム・体制の確立や指導者の育成、指導マニュアルの作成等が効率的に進められていると思われるため、今後、より一層の発展を図るためには、行政の支援と各競技団体と小・中・高の連携がなくてはならないものではないでしょうか。高岡地区高体連も一生懸命に努力いたしますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

スポーツアングル

本県初のJリーガーである芳野中学校出身の荒谷弘樹選手が、大宮の正ゴールキーパーとして大活躍している。彼に続いてJリーガーになった柳沢敦選手が、世界中が熱狂するW杯に出場した。期待がもたれたにもかかわらず、日本は世界レベルでみると力の差が歴然としていた。

今年の高校選手権で優勝した滋賀県の野洲高校を指導されている岩谷篤人氏と2月に雑誌の形で市協会で研修会を行った。世界で通用する選手を育てることを目標に置いているとのことだった。日本人は、体格、体力的にみてもフォワード向きではない。活躍できるのは中盤の選手であり、そのために技術やセンスをどう磨くべきかを考える指導にあたっているとのこと。各年代

層での指導者のあり方を一部ではあるがエキスを分けてもらった。

岩谷氏は、「環境が選手を育てる」と言っていたが、我々はどんな環境を整えることができるのだろうか。今後の成果は今のジュニア層での育成にかかわっている。私自身、今の代表選手の中・高校生年代に、県選抜選手とともに日本協会の代表選考研修会に北信越指導者として参加していたが、その時代のジュニア層への指導が今回のW杯の結果である。

4年後を見据え、オシムジャパンが始動したが、我々も8年後、12年後の世界に通用する代表を夢見て、行政も各団体も財政的に苦しいところであるが、助成やバックアップ体制を整え、ジュニアを育成していきたい。

サッカー協会 土合 利広

事務局が変更になりました。

今年度から高岡市スポーツ少年団・高岡市民歩こう会事務局が高岡市体育協会に移りました。担当者は大石隆文（スポーツ少年団）、河合昭博（歩こう会）です。一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

今年度の「賛助会員」を募集しています。

編集後記



今回は全国的な大会で活躍した選手が多く、内容も増え二ページ増版しました。寄稿していただいた方々に感謝申し上げます。